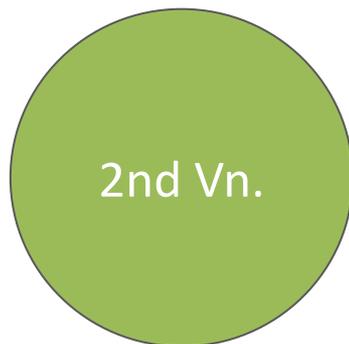
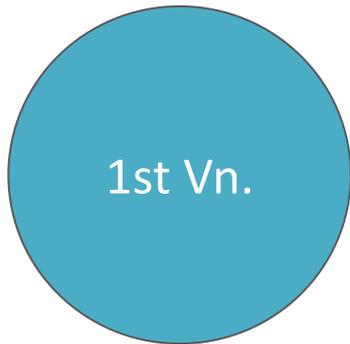


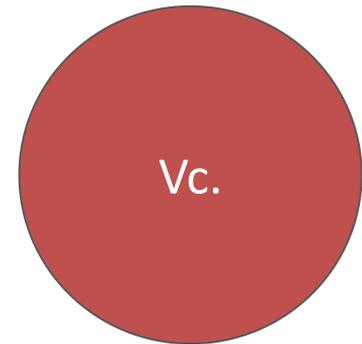
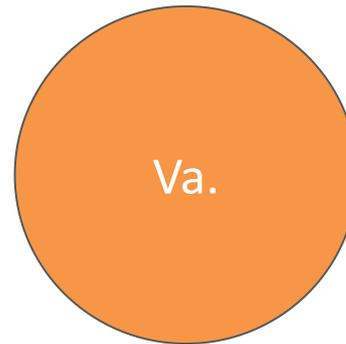
# 2-6 フォーム4: デュアルオブリガート型

# デュアルオブリガート型

1st&2ndは上声部



Vla.&Vlc.は下声部



## デュアルオブリガート型の特徴

- ① 1st+2nd、Va.+Vc.の2ペアでそれぞれメロディを演奏
- ② 2つの旋律が同時に絡み合う、対旋律に特化したアレンジスタイル
- ③ メロディ要素しかないため、コード、ベース、リズムの要素は他のパートに任せることが前提
- ④ さらに細分化して、トリプルオブリガート、クワッドオブリガートスタイルも可能(だが超難しい)

Strings

Intro

Prospero M01

稲毛 謙介

♩ = 220



1

2

3

4

5

6

7

8

9

×口1

Violin I

Violin II

×口2

Viola

Violoncello

Vln. I

Vln. II

Vla.

Vc.

V.S.

©2020 TEMPEST STUDIO Co., Ltd.

# デュアルオブリガート型のアレンジのポイント

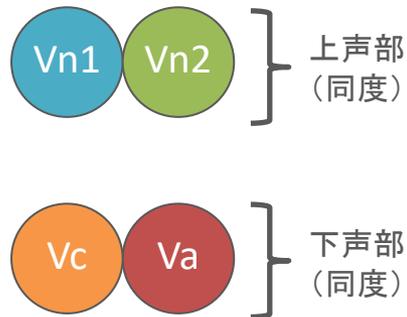
デュアルオブリガート型はあくまでメロディ要素しか持ち合わせてないため、コード楽器やベース楽器、リズム楽器との併用が必須。

## ■ デュアルオブリガート型アレンジの楽器組み合わせ例

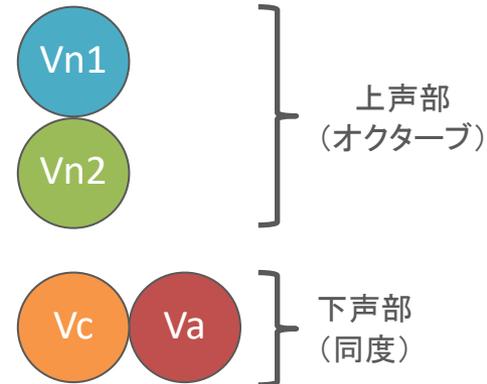
- ✓ メロディ(またはオブリガート) → スtringス
- ✓ コード → ピアノやギターなどのコード楽器
- ✓ ベース → エレキベース、シンセベースなどのベース楽器
- ✓ リズム → ドラム、ギターカッティングなどのリズム楽器

# デュアルオブリガート型のボイスング

パターン1: 上声部、下声部ともに同度

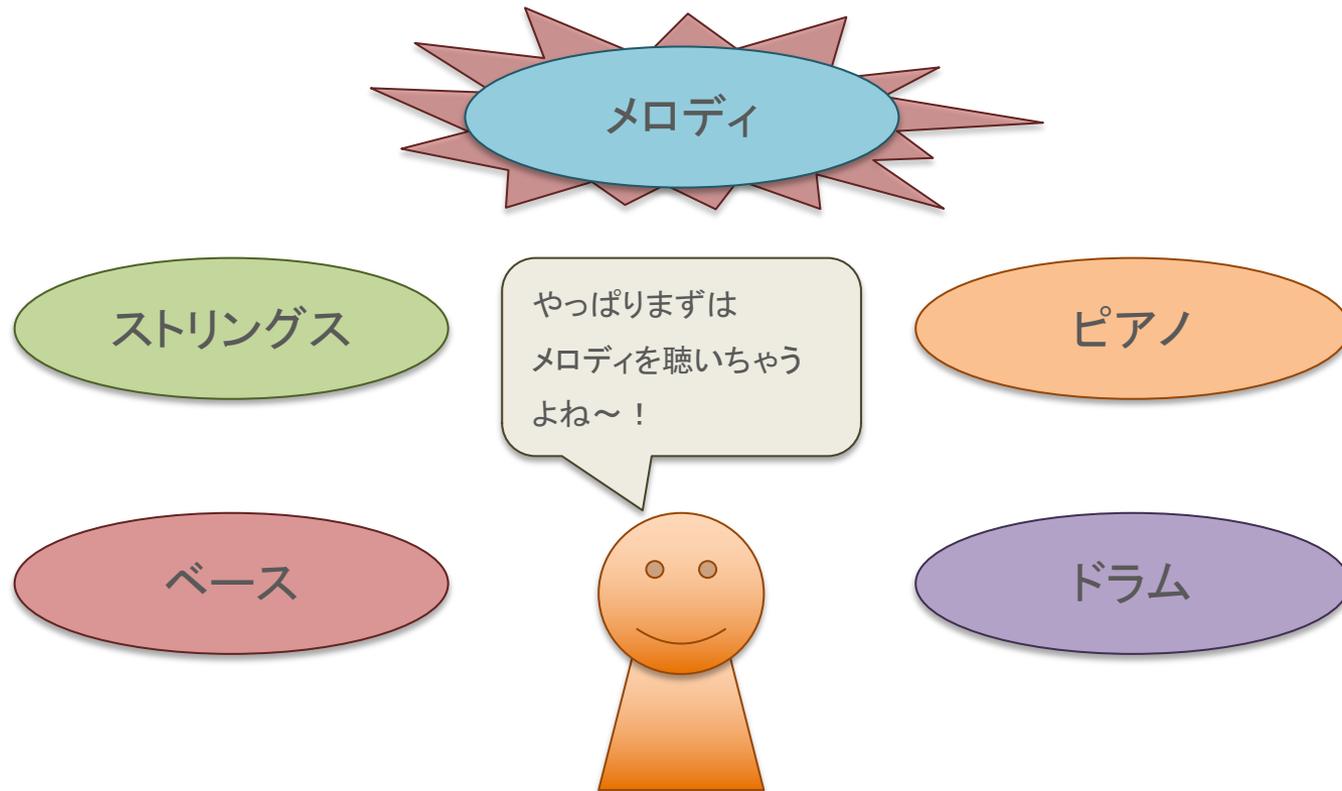


パターン2: 上声部はOct、下声部は同度



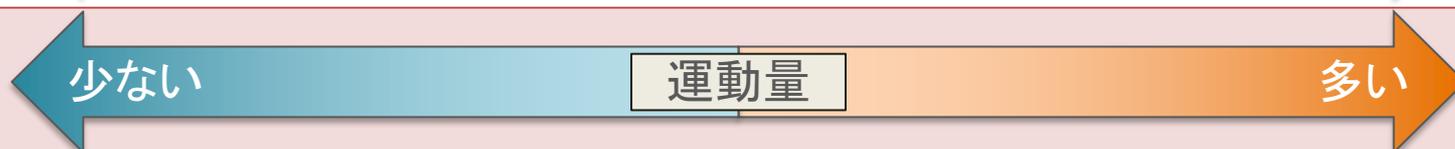
# フォーカス度について

# フォーカス度とは？



# フォーカス度と音楽的要素の関係性

低い ← フォーカス度 → 高い



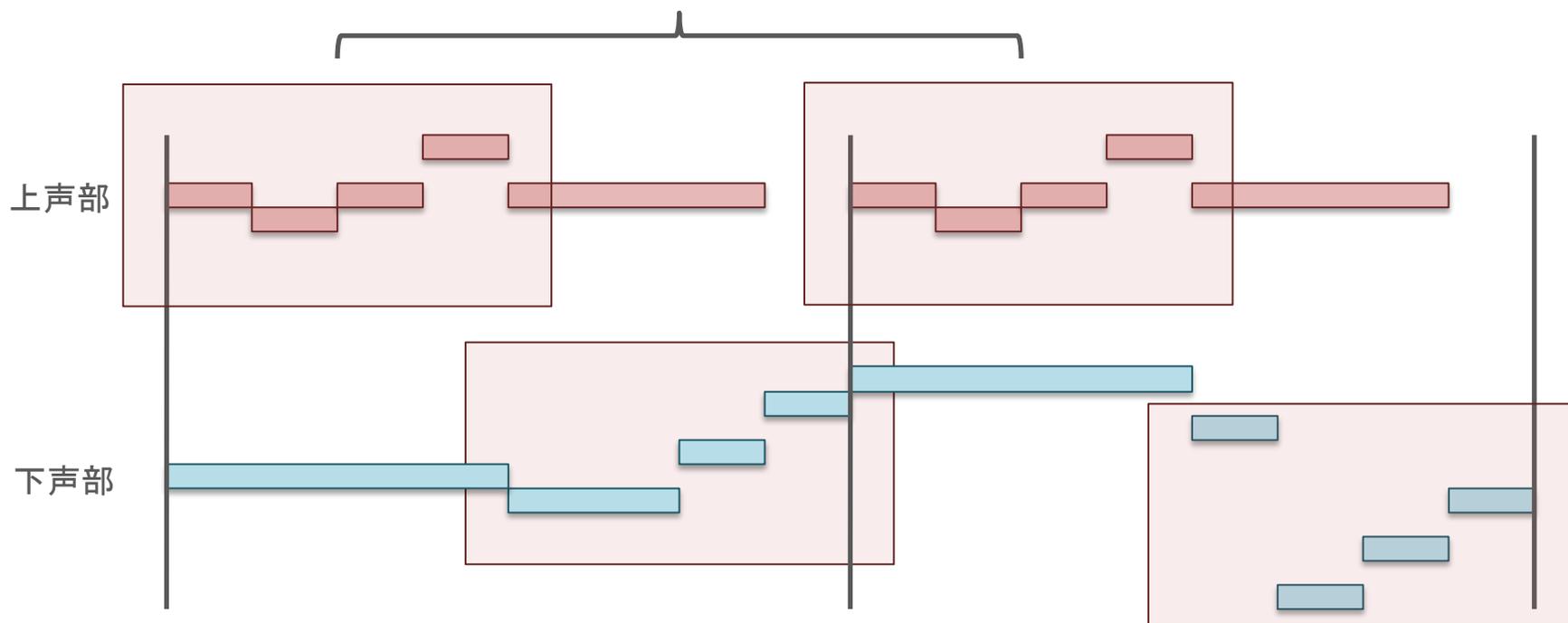
ここが大事！！

※トライアドの構成音が連続するとフォーカス度は下がるので注意。

# 2つの旋律を同時に扱うコツ

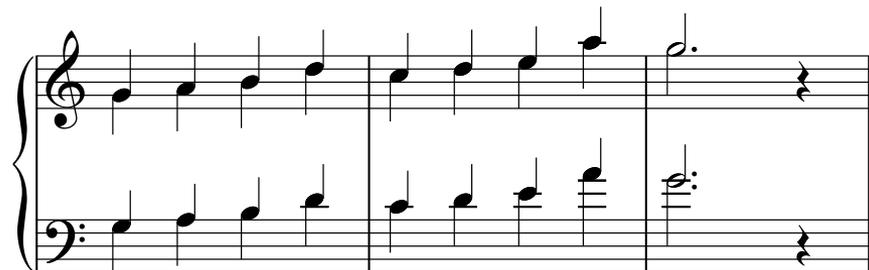
# 互いの間の手を取り合う

それぞれの間の手を取り合うようにライン取りするのがキモ

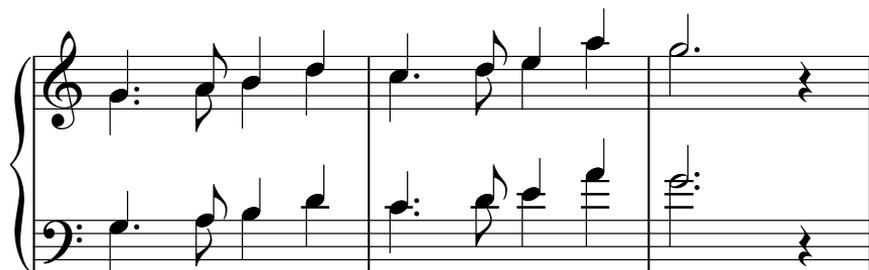


# 運動量を控えめにする

四分音符の動きはそこまでフォーカス度を高めない。

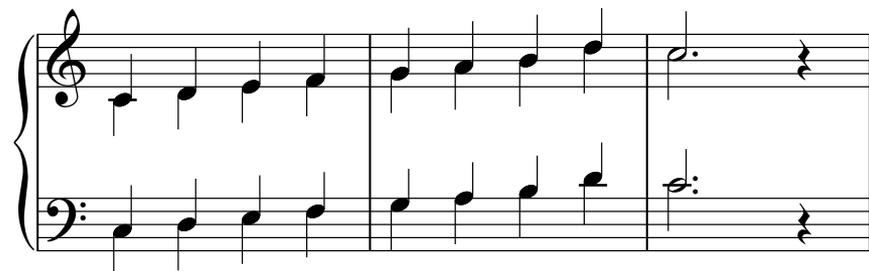


付点四分音符+八分音符という組み合わせも悪くない。

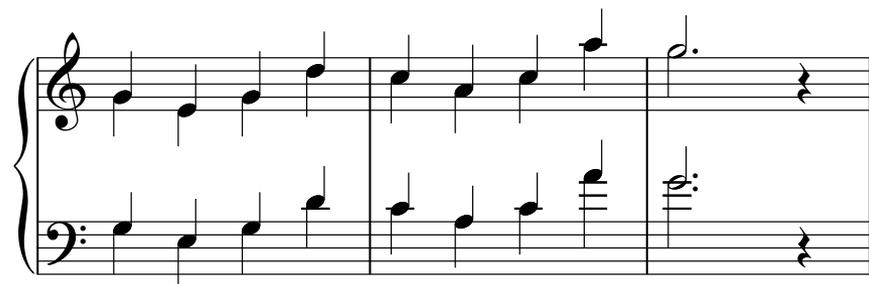


## フォーカス度の低い進行を選ぶ

順次進行に徹する。



アルペジオでコードをなぞる。



## 2つの旋律のフォーカス度をなるべく一致させる

もっとも意識すべきポイントは各声部の「運動量」。上声部の運動量を控えめに、下声部の運動量を多めにすることでバランスを取ることができる。

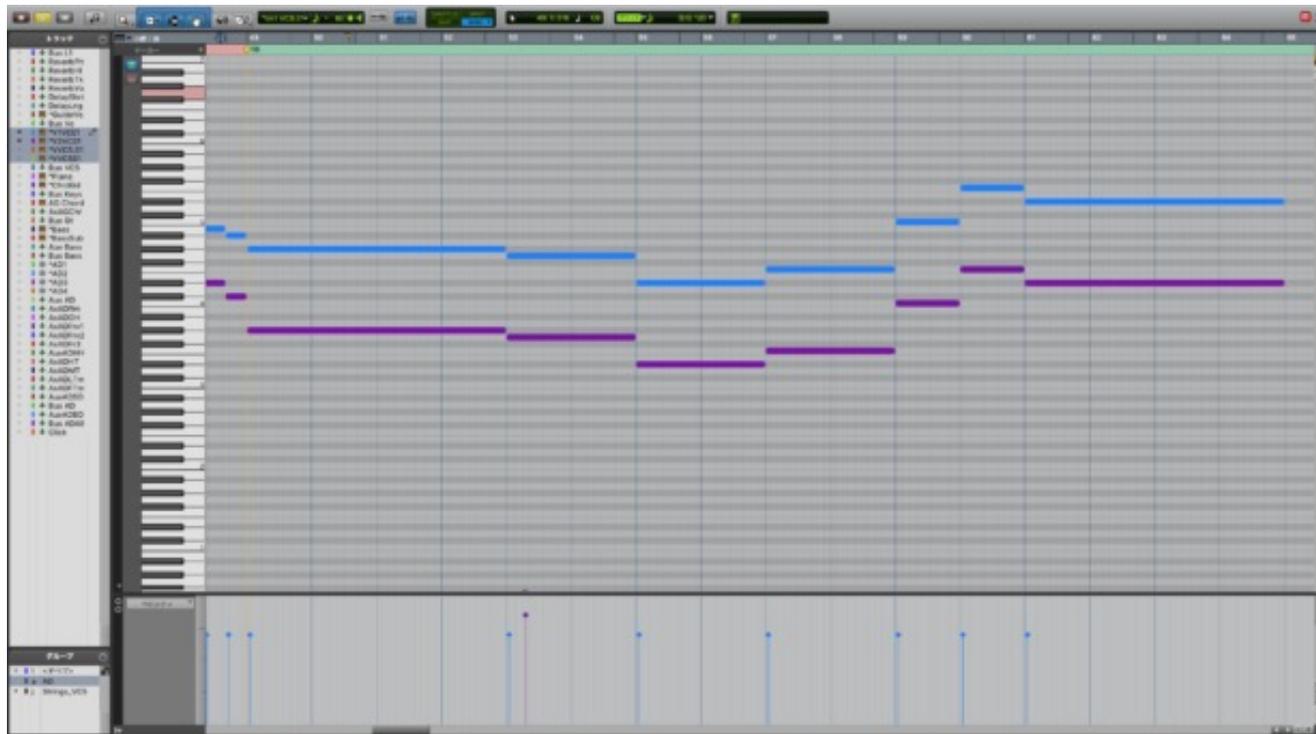


# デュアルオブリガート型のアレンジ手順

- ① 上声部を白玉だけで書く
- ② 下声部を書く
- ③ 下声部のフレーズのスキマを狙って上声部を動かす

# ① 上声部を白玉だけで書く

上声部は「白玉多め」のラインに仕上げることがポイント。最初は、全部白玉でラインを作るくらいのシンプルさでOK。



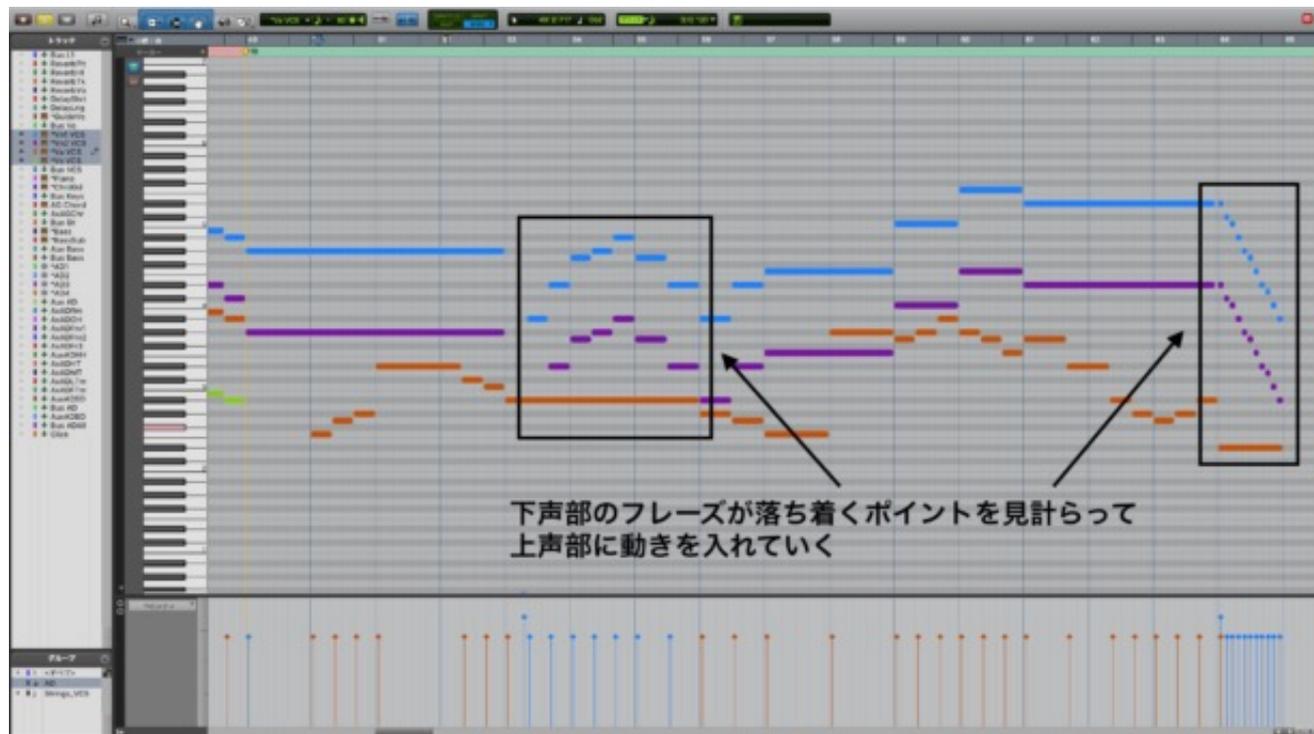
## ② 下声部を書く

ViolaとCelloで下声部のメロディを作っていく。下声部は運動量が多めでも問題ないため、普通のメロディを作る感覚でしっかり動きを入れていこう。



### ③ 下声部のフレーズのスキマを狙って上声部を動かす

最後に、上声部にも動きを入れていく。下声部のラインの中で動きが落ち着くポイント(フレーズの最後など)を狙って、上声部に適度な動きをプラスしていこう。



The image shows a screenshot of a music production software interface. On the left, there is a piano roll with a keyboard view. The main area displays several MIDI piano roll tracks for different instruments, color-coded in blue, purple, orange, and green. Two black boxes highlight specific points in the lower voice parts (blue and purple tracks). Arrows point from these boxes to the upper voice parts (orange and green tracks), indicating the timing of movement. Below the piano roll, a MIDI piano roll track shows vertical stems for notes. Japanese text at the bottom of the screenshot reads: "下声部のフレーズが落ち着くポイントを見計らって上声部に動きを入れていく" (Time the movement of the upper voice part by watching for the point where the lower voice part's phrase settles).